

# 双葉郡における 子育てに関する調査 結果報告書

2024年5月

# もくじ

I. 調査の背景と目的	3
II. 双葉郡の概況	5
III. 調査結果サマリーと提言	13
IV. 調査結果の詳細（単純集計表）	21
V. 調査概要	34
VI. 調査実施団体・調査主体	37

# I. 調査の背景と目的

# 背景と目的

## 調査の背景

- ・ふくしまこども食堂ネットワークは、福島県内でこども食堂をはじめとした子どもの居場所や子育て支援を増やし、またそのネットワークをつくる事業を進めている。
- ・双葉郡の子育て支援団体 cotohana は、ふくしまこども食堂ネットワークの浜通り地域におけるコーディネーターを務めている。cotohana 自身も双葉郡における様々な活動を通じ、「子どもたちと子育て世帯を応援する・応援し合うコミュニティづくり」に取り組んでいる。
- ・両者は休眠預金事業を活用し、福島県浜通り地域において子どもの居場所を増やす為の取組みを実施してきた。
- ・その過程で、特に浜通り地域特有の課題があると認識し、実態を明らかにし活動に活かすと同時に、地域の現状について広く意識喚起をおこし、より良い子育て環境の醸成にむけた議論を活発化するために、調査を実施することとした。

## 調査目的

- 双葉郡における子ども・子育ての実態と課題を把握し、次年度以降に取り組むべきことを検討するための情報を得る
- その結果を社会に発信することで、双葉郡の子ども・子育てへの支援や資源が集まるきっかけをつくる
- 子育て当事者、子育て支援団体、行政など、双葉郡の人たちで子育ての未来を共に考えていくための材料を得る

## 調査課題

1. 双葉郡の子ども・子育ての実態と課題を把握する。
2. 子どもの居場所や子育てに関わる活動・施設・サービス等が、子育て当事者にとってどのような存在なのか、充足点・未充足点等を知る。
3. 子育て支援や子どもの居場所づくりなどのプレイヤーとなりうる人がどのくらいいるのか、どのようなきっかけやサポートがあればより活動しやすくなるのか等を知る。

## Ⅱ. 双葉郡の概況

# 双葉郡とは

双葉郡（ふたばぐん）は、福島県浜通りの中央に位置する地域です。

広野町（ひろのまち）・楡葉町（ならはまち）・富岡町（とみおかまち）・川内村（かわうちむら）・大熊町（おおくままち）・双葉町（ふたばまち）・浪江町（なみえまち）・葛尾村（かつらおむら）の6町2村から成り、東西30km、南北40km、総面積は865.12km<sup>2</sup>です。

太平洋に面した温暖な気候に恵まれ農業・漁業など一次産業が盛んな一方、戦前は常磐炭田の北端として、戦後は東京電力の発電所が複数立地する電源地帯として、エネルギー供給地でもありました。

2011年3月11日の東日本大震災では、郡内において最大震度6強の揺れを観測、沿岸部には津波が襲来。多くの命が犠牲になりました。

またその後の福島第一原子力発電所事故の影響で、一時は郡内の町村がまちごと避難を余儀なくされました。



# 避難指示解除について

福島第一原子力発電所の事故により、双葉郡の大半の地域が「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」に指定されました。

その後、幾度もの避難区域の変遷を経て、現在では「帰還困難区域」と「特定帰還居住区域」が設定されています。

引用：双葉郡未来会議『ふたばいいんぷお』

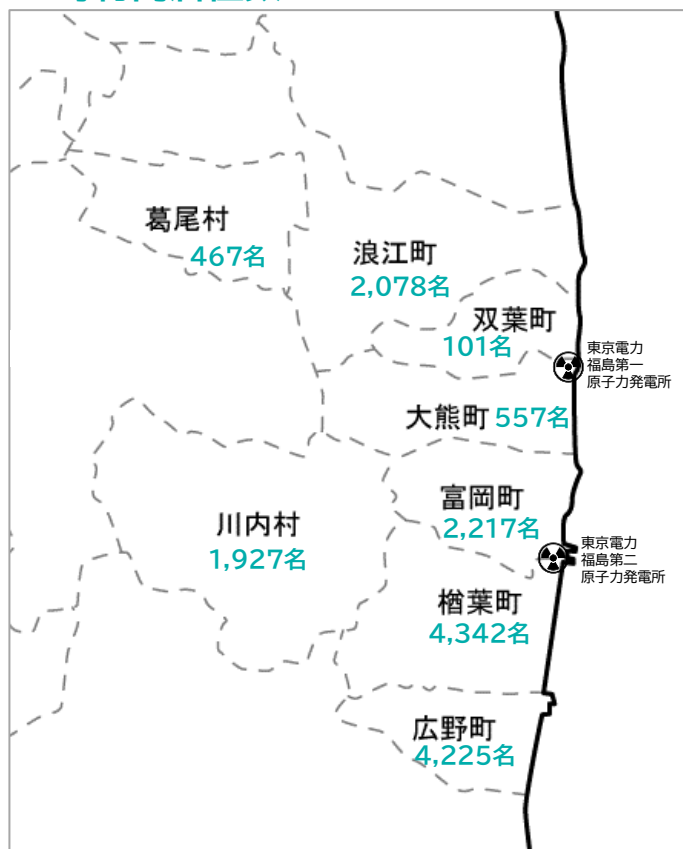


# 双葉郡の人口動態

2023年時点で、双葉郡には約16,000人が居住しています。2023年の住民登録数と町村内居住数をみると※表内 (B) / (A)、広野町・川内村など住民の多くがその町村内に住んでいる自治体もある一方、双葉町・大熊町等帰還や移住が進んでいない地域もあり、双葉郡内でもその状況は町村ごとに大きく異なっています。次ページに町村ごとの時系列推移を掲載しています。

※なお、「町村内居住」には各町村に住民登録していて町村内に居住している人に加え、復興関連産業の従事者等も含まれています。

## ■町村内居住数



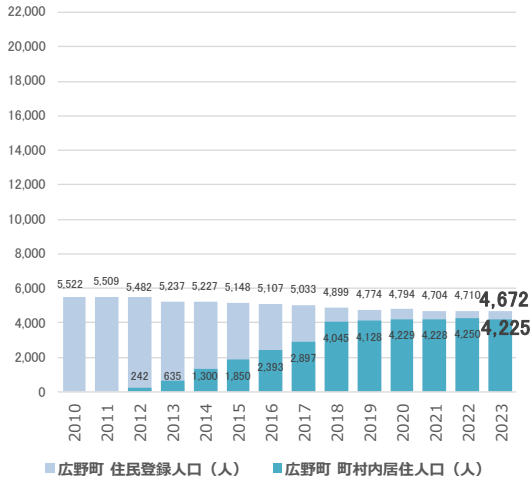
## ■人口、町村内居住数、東日本大震災による被害状況

町村	人口		町村内居住 (B)	(B)/(A)	東日本大震災による被害状況				
	2011年	2023年(A)			直接死	震災関連死	死亡届等	死者数合計	
広野町	5,490	4,672	4,225	90.4%	2	46	1	49	※令和 5年(2023年)6月30日現在
楡葉町	8,011	6,560	4,342	66.2%	11	142	2	155	※令和 5年(2023年)6月30日現在
富岡町	15,937	11,628	2,217	19.1%	18	456	6	480	※令和 5年(2023年)7月 1日現在
川内村	3,038	2,318	1,927	83.1%	0	102	0	102	※令和 5年(2023年)7月 1日現在
大熊町	11,505	9,996	557	5.6%	12	131	0	143	※令和 5年(2023年)7月 1日現在
双葉町	7,140	5,450	101	1.9%	17	158	4	179	※令和 5年(2023年)11月30日現在
浪江町	21,434	15,383	2,078	13.5%	151	443	31	625	※令和 5年(2023年)6月30日現在
葛尾村	1,567	1,295	467	36.1%	0	42	1	43	※令和 5年(2023年)7月 1日現在
合計	74,122	57,302	15,914	27.8%	211	1,520	45	1,776	

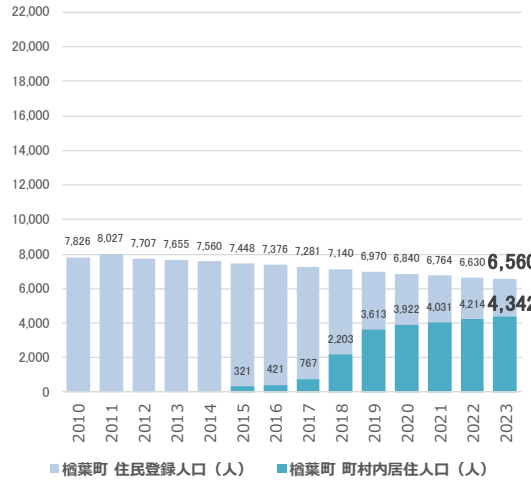


# 双葉郡の人口推移(住民登録人口 / 町内居住人口)

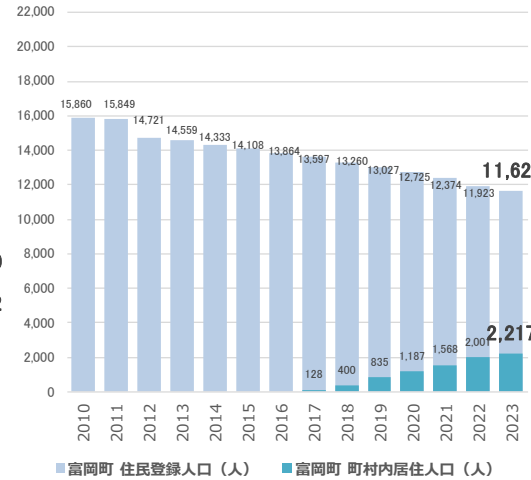
### 広野町



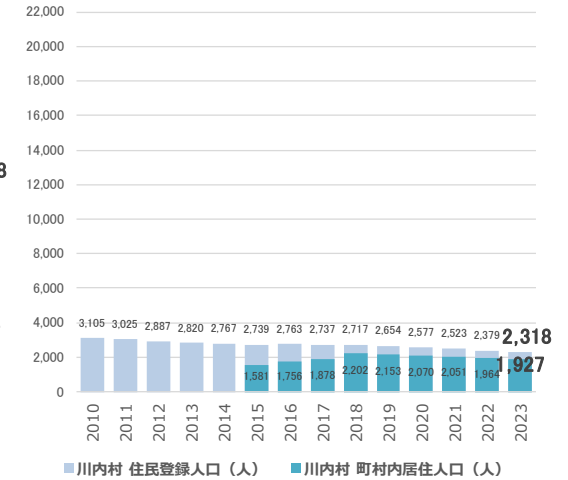
### 檜葉町



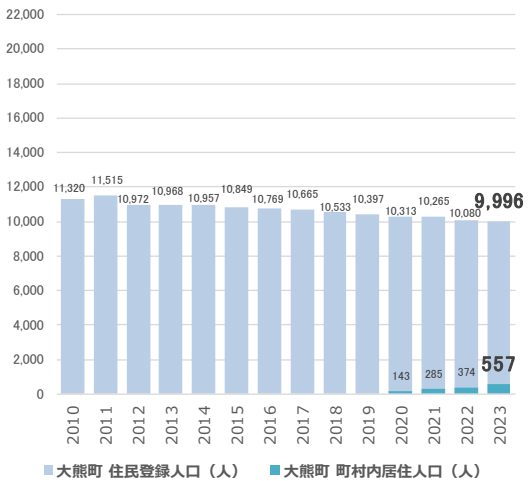
### 富岡町



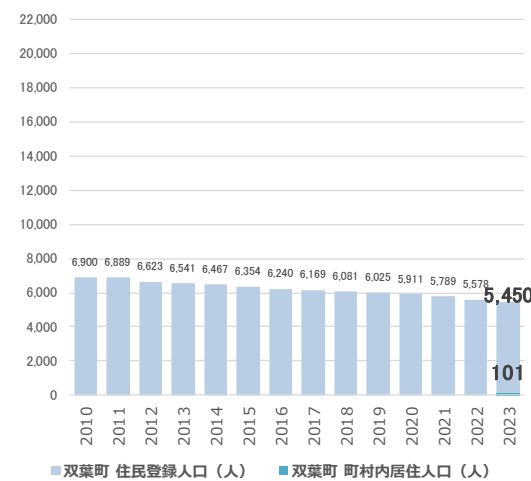
### 川内村



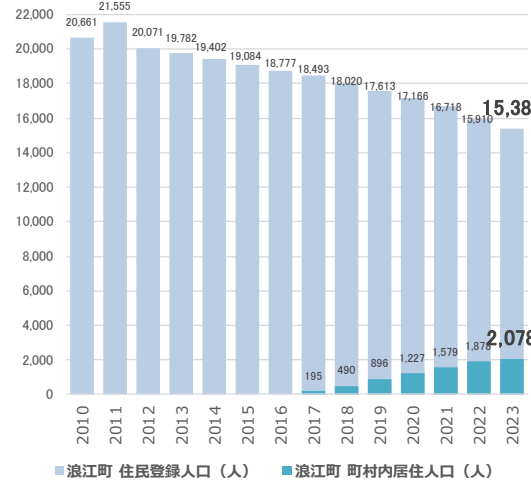
### 大熊町



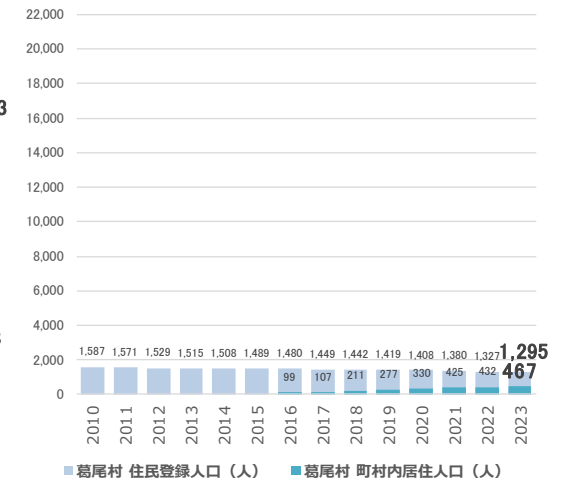
### 双葉町



### 浪江町



### 葛尾村

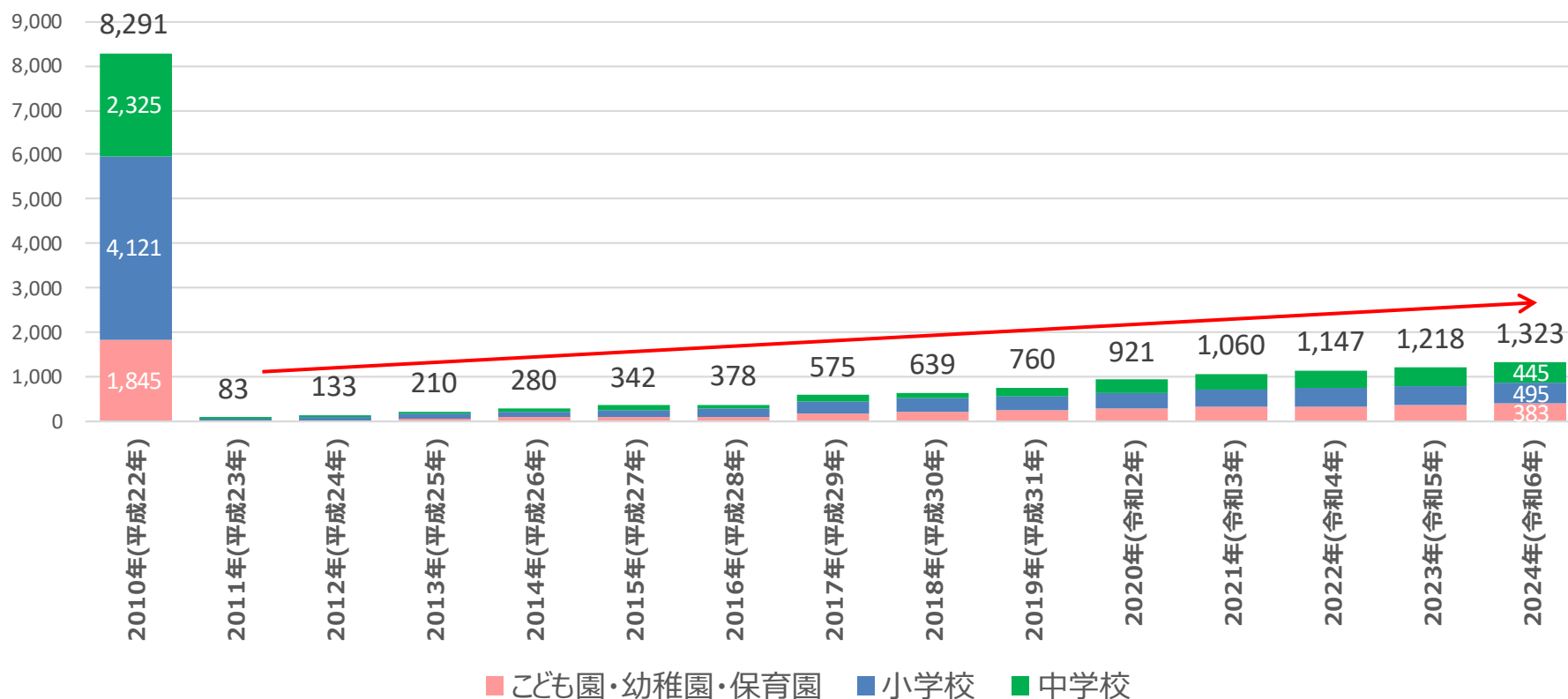


# 双葉郡の子ども(0~15歳)の数

2024年4月現在、双葉郡内には少なくとも1,323人の子どもたちが暮らしています。

各町村ごとに帰還が始まり、また近年では移住促進政策も進み、教育機関の再開・新設も相次いでおり、子どもの数も右肩上がりが増え続けています。

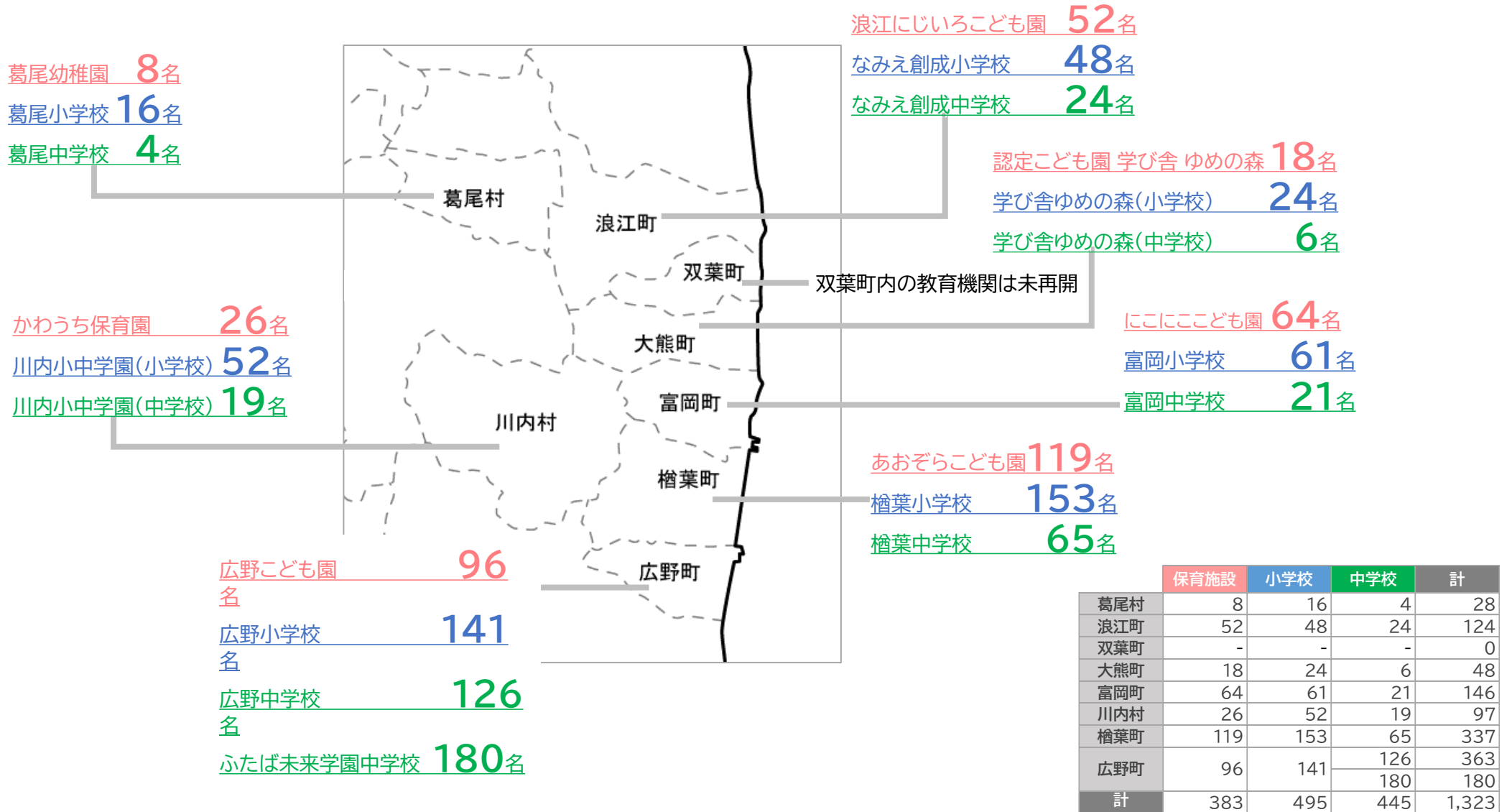
※双葉郡内の町村から各施設に在籍する子どもの人数を聞き取り集計した結果。そのため、例えば自宅のみで過ごしている未就学児などの数は含まれていない。



※2024年4月現在 コトハナ調べ

# 双葉郡内の保育施設・幼稚園・小中学校における児童生徒数

※2024年4月現在 コトハナ調べ  
 ※双葉郡内の町村から各施設に在籍する子どもの人数を聞き取り集計した結果。  
 そのため、自宅で過ごしている子どもの数は含まれていない。

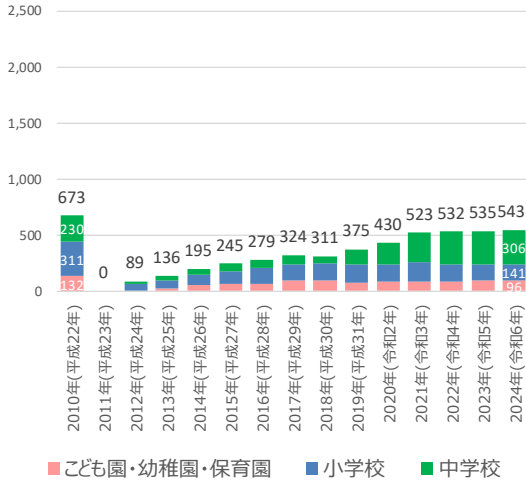


※令和6年(2024年)4月1日 現在

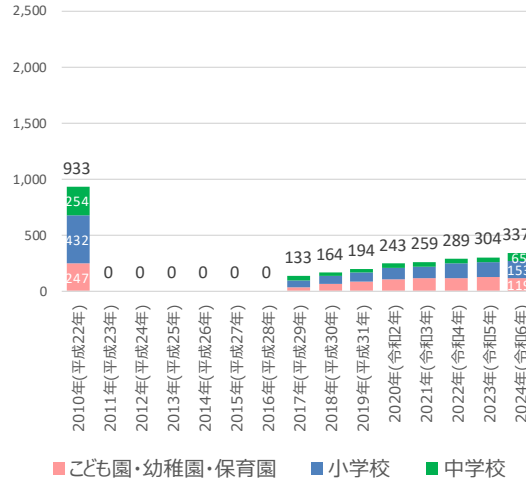
# 子ども(0~15歳)の数の推移

※2024年4月現在 コトハナ調べ  
 ※双葉郡内の町村から各施設に在籍する子どもの人数を聞き取り集計した結果。そのため、例えば自宅のみで過ごしている未就学児などの数は含まれていない。

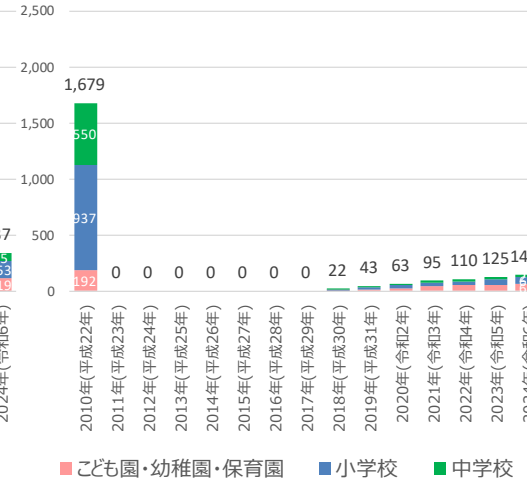
### 広野町



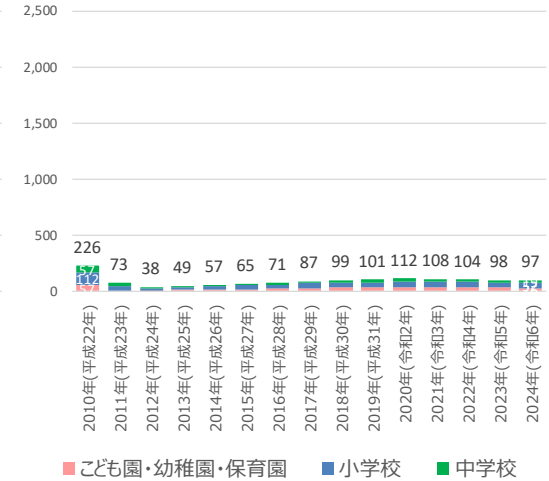
### 檜葉町



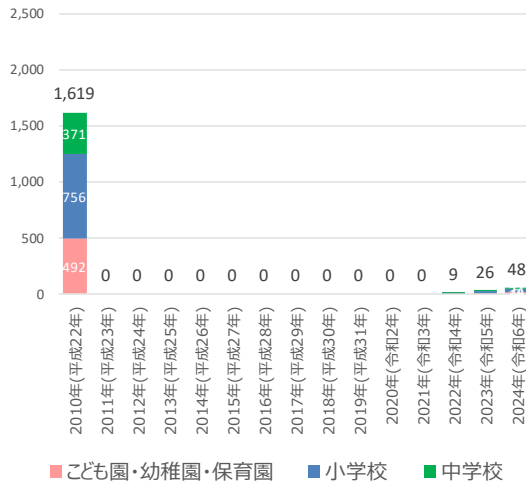
### 富岡町



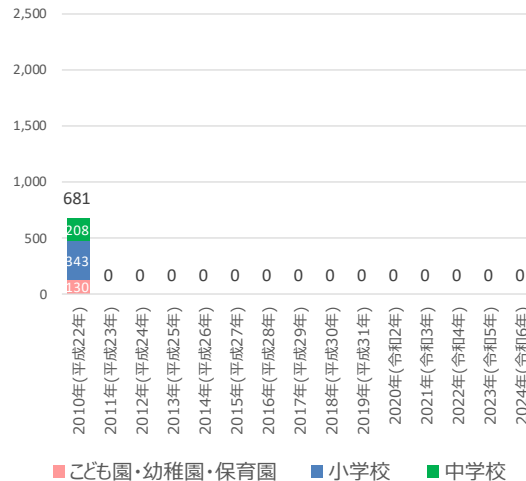
### 川内村



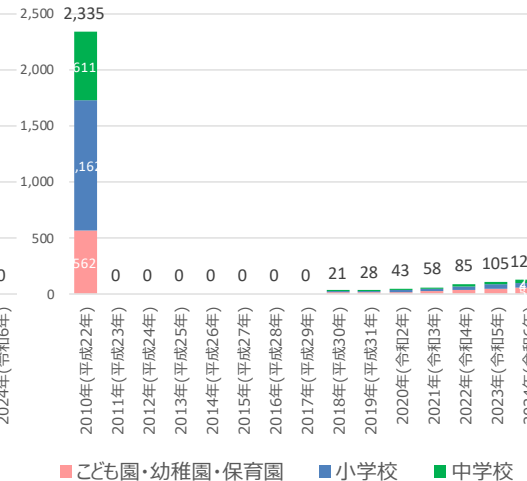
### 大熊町



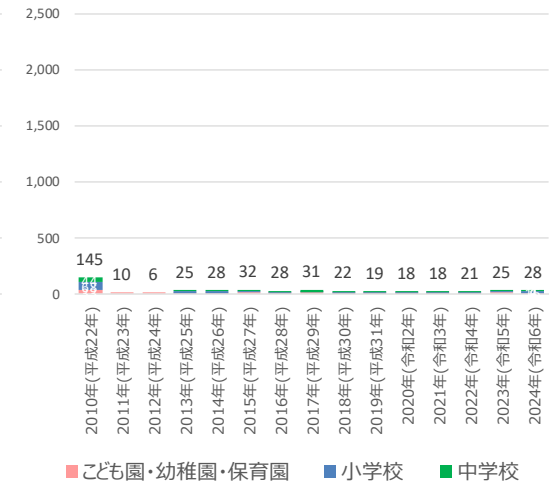
### 双葉町



### 浪江町



### 葛尾村



## Ⅲ. 調査結果サマリーと提言

# 調査結果1 地域外の資源に依存せざるを得ない子育て環境

双葉郡内の生活インフラは少しずつ整いつつあるものの、買い物・遊び・学び・病院など子育てに関する資源は地域外に依存せざるを得ず、子どもの体験・学びの機会も不足している。

- 買い物・遊び・学び・病院など、子育てや子どもたちの育ちに必要な資源は、住んでいる町村内に加えて近隣自治体や県外などへ越境しながら利用している実態が改めて明らかになった。特に休日は、買い物や遊びは8割近く、病院も6割以上が双葉郡外や県外まで行っている。

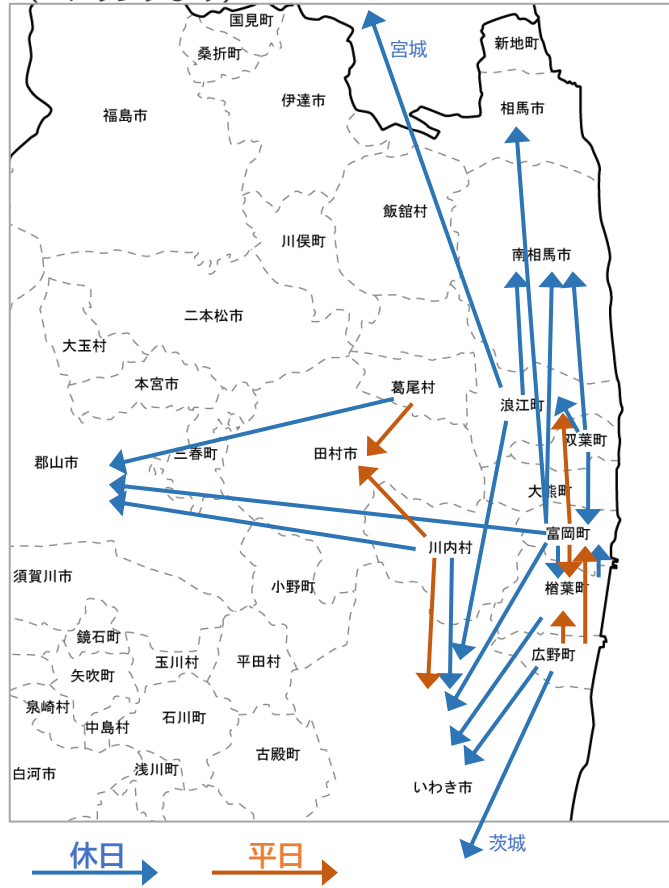
■Q21 買い物、遊び、学び・体験、病院の利用実態(複数回答)

n=72 (%)		住んでいる町村内	隣の町村など双葉郡内	双葉郡外・県外	オンライン	日常生活でこのシーンはない
買い物	平日	68.1	33.3	31.9	40.3	2.8
	休日	34.7	48.6	77.8	20.8	0.0
遊び (レジャー・公園等)	平日	61.1	37.5	26.4	4.2	9.7
	休日	38.9	55.6	75.0	5.6	1.4
学び・体験 (習い事・塾)	平日	12.5	5.6	9.7	4.2	59.7
	休日	12.5	6.9	12.5	4.2	63.9
病院		33.3	36.1	63.9	1.4	1.4

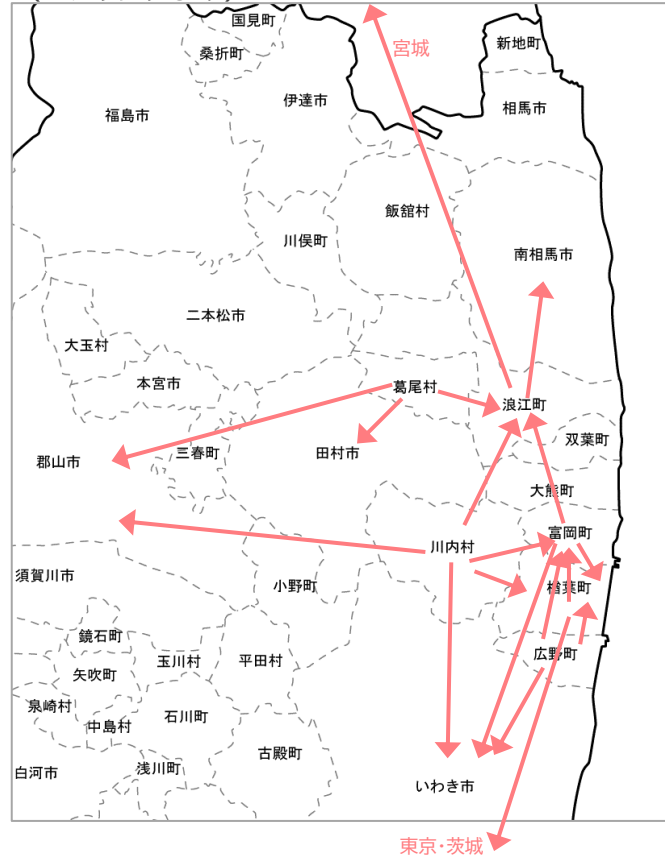
- 買い物について、双葉郡内にも商業施設は増えてきたものの、特に子ども向けの日用品や食品、文具・学用品、衣類などは双葉郡内では手に入らなかつたり種類が限られたりしており、休日に車で遠方へまとめ買いしに行っている家庭も多い。
- 習い事や塾などの学び・体験も、住んでいる地域による質・量的な機会差がみられた。
  - このような機会差は、子どもたちの育ちに関わる重要な問題であることはもちろん、進学・進路・将来を考えるうえでも子どもたちの可能性を狭めてしまうことにつながりかねない。
- 病院の利用は町村内・双葉郡内がそれぞれ約3割、双葉郡外・県外が約6割。ヒアリングでは、緊急時に利用できる病院が少ない・遠方に行かなければならないことへの不安が語られた。
  - 全国的に地域医療のリソースが不足しているなか、すぐに医療機関や医師を増やし強化する方策は難しいかもしれないが、現状も一部地域で導入がある「オンライン診療」や他地域の先事例を参考とした「コミュニティナース」など、新たな方法で地域の医療を支える仕組みも検討の余地がある。
- 土日に地域外で過ごす時間が長い。
  - 子育て世帯が地域コミュニティとつながる機会を逃しているとも考えられる。

# (参考:ヒアリング調査より) 住んでいる町村外で出かける場所

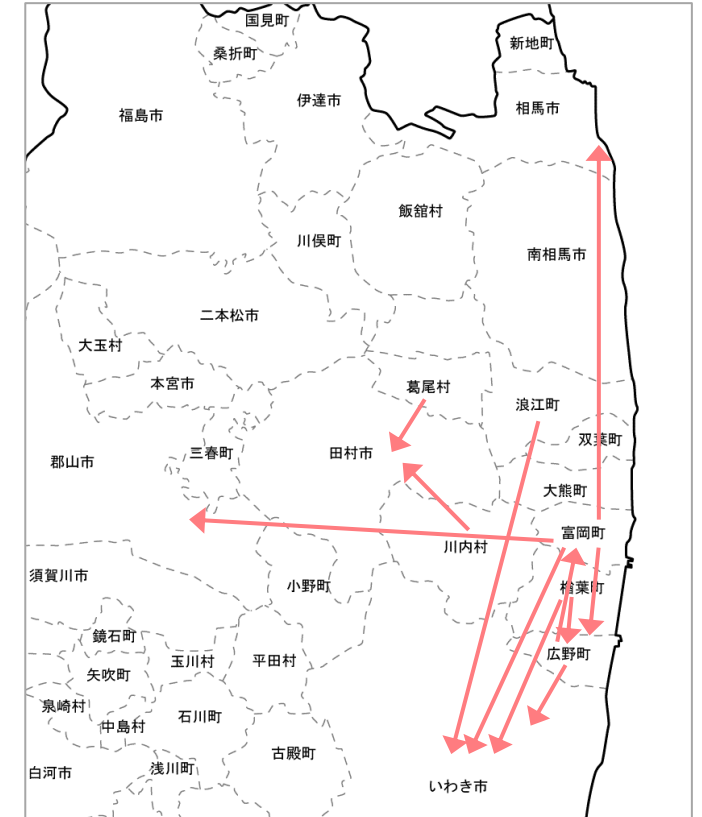
●住んでいる町村外で買い物に出かける場所  
(ヒアリングより)



●住んでいる町村外で遊びに出かける場所  
(ヒアリングより)



●住んでいる町村以外で利用する病院



# 調査結果1 地域外の資源に依存せざるを得ない子育て環境

子育て世帯は、郡内における資源の不足に加え、子どもの進学・進路やそれに伴う経済的不安や子育てと仕事の両立など、様々な不安・悩みを持っている。また一時預かりのニーズも大きい。現状の制度では十分に対応できていない。

- 子育てに関する悩みの上位は「医療機関がない・少ない」「子どもの習い事・塾などの選択肢がない・少ない」、「進学・学費に関する経済的負担・不安」。
- ヒアリング調査では、子どもの一時預かりに関する要望や悩みの声が多く挙がった。双葉郡には一時預かりがないわけではないが、短時間や理由を問わない保育、土日の預かりに対応していない点、事前予約が必要な点など、利用しづらさを感じられていることも分かった。

→一時預かりの利用は保護者のつかの間の精神的・時間的なゆとりを生むだけでなく、保護者の就労機会増加や学びなどの自己実現にもつながる。子育て世帯は、子どもを預かってもらえるような親族がいる家庭ばかりではない。一度避難というプロセスを経て各地に住まいを移し、親やきょうだい避難先で定住しているケースもある。また、移住促進策により今後さらに増えるであろう移住者についても、移住当初から頼れる存在がいないケースが多くなるだろう。

- 悩み上位に挙がる「子どもの習い事・塾などの選択肢がない・少ない」「進学・学費に関する経済的負担・不安」「子育てと仕事の両立」「子どもの勉強・成績・進学」等は、それぞれが独立した悩みではなく互いに関係しあっていると考えられる。

→子どもが小さいうちに帰還・移住した世帯も、数年が経つと子どもたちの成長に合わせ中学校・高校といった「進路」を考える必要に迫られてくる。双葉郡内での中等/高等教育機関が限られている中、子どもの進学に合わせて“どこに住まうのか”が家族内の大きな議題になる世帯も少なくないだろう。その決断によっては、双葉郡内に住み始めた子育て世帯が、進学の関係で再度転出してしまうような動きも出かねない。

■Q35 子育てに関する悩み(複数回答) ※上位15位まで表示





## 調査結果2 障害児への理解や様々な支援体制が十分ではない現状

- 障害や特別な配慮を必要とする子どもたちの実態や課題はアンケート調査からは定量的に把握することが難しかったが、ヒアリング調査からは貴重な声を聴くことができた。
  - 特に、双葉郡内に帰還・移住し少人数で細やかな教育環境に変わったことで、子どもが過ごしやすく健やかな生活を送れているといった、双葉郡の教育環境がプラスに働いた事例もいくつかあった。
  - その一方で、双葉郡内に療育機関・施設がなく、専門性のある人材が不足していることや、保護者にとって相談先がなく、双葉郡外の専門機関や保護者同士助け合いながら子育てをしていることも浮き彫りになった。行政として帰還・移住を積極的に促進している一方、障害児支援に対する行政の理解や姿勢に疑問を呈する声もみられた。
- 帰還・移住促進の政策が取られる中、特別支援ニーズを持つ子ども・子育て世帯の現状が十分把握されているとはいえ、その暮らしを支える取り組みも公・民ともに現状においては不十分であると言わざるを得ない。この先帰還・移住が進むにつれ、障害児のみならず外国籍の子どもたちや世帯など、様々な背景を持つ家族の帰還・移住も増えていく可能性も考えられる。多様なニーズに対応するため、ハード面等はすぐに対応できないとしても、より住みよい地域としていけるような意識が醸成されていくことを期待したい。

# 調査結果3 つながりの有無や濃淡による情報・資源へのアクセスの差も

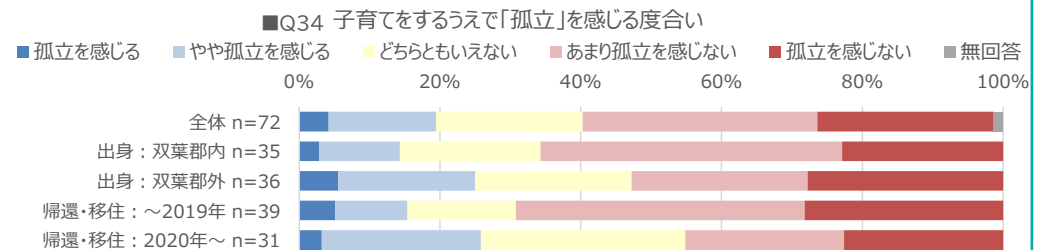
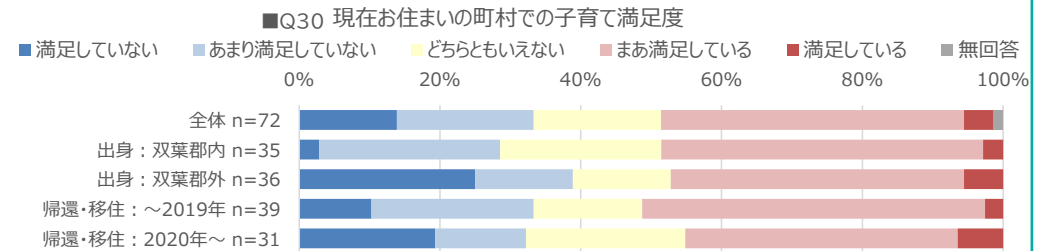
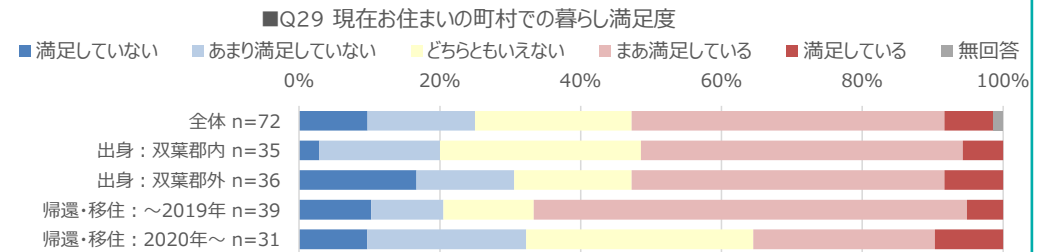
双葉郡外の出身者や2020年以降に帰還・移住した層で、子育てや暮らしの満足度の相対的な低さと孤立感が浮き彫りに。地域におけるつながりの有無や濃淡による情報・資源へのアクセス差も。

- 暮らし・子育ての満足度や孤立感の有無は、出身地や居住歴などにより差がみられた。全般的に、双葉郡外の出身者や帰還・移住して間もない層は、子育てや暮らし、地域でのつながりに何らかの不安や課題を抱えている人が多いことが考えられる。
- 「頼れる人・相談できる人の有無」については全体の8割が「いる」との回答だったが、その内訳は「配偶者・パートナー」「ご自身の親」が高く、双葉郡内出身者は“身内”が、双葉郡外の出身者や2020年以降の帰還・移住者では“友人知人等”が高い結果であった。
- 子育てに関する情報源は、「友人・保護者仲間の話」「自治体の広報誌やチラシ」「インターネット検索」がそれぞれ5割を超えたが、子育ての満足度が低い層や孤立を感じている層は、相対的に「友人・保護者仲間の話」が低かった。
- ヒアリング調査でも、チラシや広報誌など紙媒体には目を通し、友人や保護者仲間とも情報交換をする保護者の姿が浮かび上がったが、それは今回のヒアリング対象者の中には情報感度が高く、自分から積極的に情報を取りに行ったり、必要となれば情報収集を入念に行うタイプの方も含まれていたからであろう。「広報誌を読む暇がない」という声もあり、情報感度や情報収集にかけられる時間の差でアクセスできる資源に差が出ている可能性も考えられる。

もともと町村内や双葉郡内につながりがあるかどうかや、保護者本人のパーソナリティとして自ら情報を集めたりつながりをつくることのできる・好きな人とそうでない人で、孤立の度合いやアクセスできる情報・資源に差が出る様子うかがえる。

現状では保護者同士がつながりを持つきっかけは少ないが、ヒアリング協力者の中には自ら積極的に情報を集めたり、イベントやサロンに参加してつながりを作り、孤立を解消していった経緯を語ってくれた方もいた。

帰還・移住前やその直後に、つながりをつくることのできる継続的な場があるとそのようなギャップを防げるのではないかと考えられる。



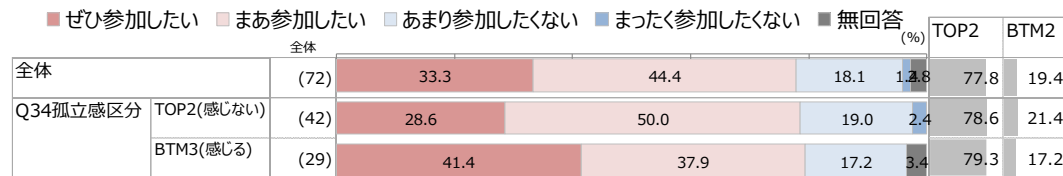
# 調査結果4 地域活動を後押しするコーディネーター・中間支援的機能が必要

子育て支援活動など、地域で「何かしたい」という想いを持った人たちが確実にいる。その背中を後押しするコーディネーターや中間支援的機能・役割が地域の中で必要である。

- 全体の8割近くが「子育てについて学ぶ機会(子育て関連の講座、講演会、体験教室など)があったら参加したい」と回答。特に孤立感を感じる層で高い参加意向があった。

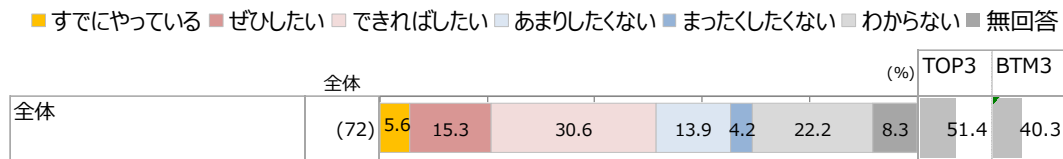
→学びの機会がつながりの機会となり、孤立感からの脱却につながる可能性も考えられる。

■Q28 子育てについて学ぶ機会(子育て関連の講座、講演会、体験教室など)の参加意向



- 「子ども支援・子育て支援の活動」についても全体の半数が「ぜひしたい・できればしたい」もしくは「すでにやっている」と回答。

■Q51子ども支援・子育て支援活動の参加意向



- 活動の障壁となっているのは「時間的余裕がない」が最も多かったが、そのほかは「自分にどんな活動ができるのかわからない」「どんな活動が行われているのかわからない」「参加方法や始め方がわからない」といった理由が挙げられた。

子育て当事者は何かしたいと思ってもどうしても「時間・余裕がない」ことが大きな障壁となってしまうが、現状双葉郡では当事者が活動しないと資源・サービス・支援がない状況にあり、実際郡内のこども食堂も5つ中3つが子育て当事者が始めている（他地域では子育て当事者のみがこども食堂の運営を担う例は少数である）。

子育て世帯が感じている課題を他世代と共有し、様々な人の力を借りながら地域で共に子どもたちを支えていく必要がある。「どんな活動があり、どのように参加・始めることができるのか」を伝え、背中を押すことで新たな活動が生まれるためにも、コーディネーター・中間支援的役割が生まれることを期待したい。

# 調査結果を受けてー3つの提言

現在の双葉郡において、子ども・子育てに関係する資源・サービスは地域内のみでは不足しており、双葉郡に居住する子育て世帯は**移動や時間的コストを負担しつつ地域外の資源も利用して生活している実態**がわかりました。このことから、依然として震災・原発事故の影響を受けた双葉郡では、**子ども・子育て世帯はもとより、多様なライフスタイルを包摂する地域としての再興をしていくためにあゆみを始めたばかり**であり、**東日本大震災から13年が経過した今もなお、「復興」という文脈において未だ継続的な支援を要している**ことを改めて訴えていきたいと考えます。

## ●子ども・子育て世帯が豊かに暮らし、学び育つ地域へ — 専門家・アカデミックな分野からの知見と意見交換を —

- ・今回の調査から浮かび上がった、買い物・遊び・医療など生活と切り離すことができない分野については、県・市町村行政に子ども・子育て世帯の声を届け、計画への反映と実装を求めています。
- ・子どもの成長は待たなしであり、今回の調査から未充足であることが強く浮かび上がった「子どもの学び・体験機会」の拡大は、火急の課題であると言えます。多様なセクターによる複数の学び・体験機会が創出されていくよう、行政・企業等による財政的な支援が望まれるとともに、関係者間で意見交換の機会をもち、実情に即した枠組みを検討する必要があります。
- ・スペシャルニーズを有する子どもとその家族への支援については、実際の居住人数は多くないなかでも現時点で既に不安や不満の声もあがっており、そのニーズは今後さらに増大すると予想されます。福祉の専門性を有する団体等による具体的な提言、支援を期待したいと考えます。
- ・双葉郡の子ども・子育て世帯を取り巻く環境については、変化するニーズや新たに生まれるニーズをとらえるため、今後も引き続きリサーチを行い地域内外に発信していく必要があります。加えて、それぞれの課題領域において短期・中期・長期それぞれのフェーズに合わせた取り組みについての提言も、大学等機関によるアカデミックな知見を借りながら行っていきたいと考えています。

## ●子育て当事者を中心として育まれつつある、地域で支えあう自助・互助コミュニティ その動きを支え・広げる後方支援が必要 —

- ・今回の調査で、子育て当事者の地域における「つながり」の有無や濃淡が、アクセスできる情報・資源や孤立の度合いに関係していることがわかりました。子ども・子育て世帯のコミュニティ形成が進むことは、子育て当事者間での情報共有や孤立感、子育てに対する不安の解消にもつながっていくと考えます。
- ・つながりをつくり深めていくきっかけとして、こども食堂に代表される地域の居場所なども効果的です。
- ・現状、子ども・子育て支援にまつわるリソースに限られる双葉郡内では、当事者を中心に「自助」「互助」で支え合うコミュニティが中心です。その拡大のためには、子ども・子育て世帯の居場所づくりやエンパワーメントが重要です。例えば行政による情報提供や財政支援、実績を有する団体によるノウハウ提供、人材の発掘や育成支援など、地域で支え合うコミュニティをつくっていくための方策が必要です。そのような役割を担える中間支援組織や市民活動サポートセンターの設置も期待したいと考えます。

## ●自助・互助の力が活きる地域モデルを、地域内外の多くの仲間とともに育んでいきたい

- ・資源・サービスが乏しいながらも、自助・互助の力を高めながら豊かな暮らしを追求しているのが、現在の双葉郡の姿です。
- ・双葉郡で暮らす子どもたちの育ちと子育て世帯を支える地域社会を実現していくために、子育て当事者、地域住民、民間団体や企業、行政・・・それぞれのプレイヤーが一体となり共に考え行動していく必要があります。
- ・今後もわたしたちは子ども・子育て世帯の声を聴き、あらゆる団体・機関との意見交換・連携を推進していきます。共にこの地域を育んでくださる「仲間」として、支援に参画する方が増えることを期待します。

## IV. 調査結果の詳細(単純集計表)

### ■サンプル数について

本アンケート内において、「n=(数値)」はその質問のサンプル数(回答者数)をあらわします。内容により、サンプル数が大変少ない箇所があります。特に、30サンプル以下については、調査結果自体を参考値として認識いただければ幸いです。(たとえば・・・)回答者数20サンプルの質問においては、1サンプルの回答で5%も数値が変動してしまいます。

### ■調査結果の代表性について

本アンケートは、できるだけ多くの方に回答を呼びかけましたが、回答数は限られた数となりました。結果は、あくまでも今回回答のあった子育て世帯の結果である点にはご注意ください。

# 単純集計表

Q1 あなたの年齢をお答えください。

単一回答	%
全体	(72)
1 10代	0.0
2 20代	8.3
3 30代	50.0
4 40代	33.3
5 50代	6.9
6 60代	0.0
7 70代以上	0.0
無回答	1.4

Q2 あなたの性別をお答えください。

単一回答	%
全体	(72)
1 女性	79.2
2 男性	18.1
3 その他	1.4
無回答	1.4

Q3 現在のお住まいをお答えください。

単一回答	%
全体	(72)
1 広野町	18.1
2 檜葉町	16.7
3 富岡町	23.6
4 川内村	15.3
5 大熊町	1.4
6 双葉町	2.8
7 浪江町	15.3
8 葛尾村	2.8
9 その他	2.8
無回答	1.4

Q4 現在の婚姻状況についてお答えください。

単一回答	%
全体	(72)
1 結婚している（事実婚を含む）	83.3
2 離婚（別居中を含む）	11.1
3 死別	0.0
4 未婚・非婚	4.2
無回答	1.4

# 単純集計表

Q5 ご出身地をお答えください。

単一回答マトリクス	単一回答マトリクス					
	全体	1 双葉郡内	2 福島県内	3 福島県外	4 その他	無回答
1 あなたご自身	(72)	48.6	26.4	20.8	2.8	1.4
2 配偶者・パートナー	(60)	45.0	20.0	30.0	3.3	1.7

Q6 東日本大震災当時（2011年3月11日）のお住まいをお答えください。

単一回答マトリクス	単一回答マトリクス					
	全体	1 双葉郡内	2 福島県内	3 福島県外	4 その他	無回答
1 あなたご自身	(72)	47.2	25.0	25.0	1.4	1.4
2 配偶者・パートナー	(60)	50.0	18.3	28.3	3.3	0.0

Q7 現在お住まいの町村に帰還または移住した時期をお答えください。

※その町村に実際に居住し始めた時期をお答えください。

単一回答マトリクス	単一回答マトリクス															
	全体	1 2011年・平成23年	2 2012年・平成24年	3 2013年・平成25年	4 2014年・平成26年	5 2015年・平成27年	6 2016年・平成28年	7 2017年・平成29年	8 2018年・平成30年	9 2019年・平成31年・令和元年	10 2020年・令和2年	11 2021年・令和3年	12 2022年・令和4年	13 2023年・令和5年	14 その他	無回答
1 あなたご自身	(72)	0.0	5.6	0.0	2.8	2.8	8.3	9.7	12.5	12.5	9.7	12.5	13.9	6.9	1.4	1.4
2 配偶者・パートナー	(60)	1.7	3.3	1.7	0.0	3.3	10.0	10.0	8.3	11.7	13.3	8.3	10.0	6.7	6.7	5.0

Q9 現在のご職業について、最も近いものをお答えください。

単一回答マトリクス	単一回答マトリクス												
	全体	1 会社役員・経営者	2 民間企業の正社員	3 公務員などの正職員	4 契約社員・派遣社員・嘱託社員	5 パート・アルバイト	6 自営業・自由業	7 主婦・主夫	8 学生	9 無職	10 その他	無回答	
1 あなたご自身	(72)	1.4	16.7	22.2	8.3	27.8	8.3	9.7	0.0	2.8	1.4	1.4	
2 配偶者・パートナー	(60)	10.0	46.7	21.7	3.3	5.0	8.3	3.3	0.0	1.7	0.0	0.0	

# 単純集計表

Q8 現在お住まいの町村に帰還または移住した理由を全てお答えください。

複数回答	%
全体	(72)
1 自分の出身地だから	36.1
2 配偶者・パートナーとの同居・結婚のため	23.6
3 (ご自身・ご家族の) 仕事の異動・転職のため	29.2
4 子どもの進級・進学のため	18.1
5 家族・親族が近隣に住んでいるため	16.7
6 その他	19.4
7 あてはまるものはない	4.2
無回答	1.4

Q10 ご家庭の世帯年収（税込み）をお答えください。

単一回答	%
全体	(72)
1 100万円未満	1.4
2 100～200万円未満	4.2
3 200～300万円未満	8.3
4 300～400万円未満	12.5
5 400～500万円未満	11.1
6 500～600万円未満	9.7
7 600～700万円未満	8.3
8 700～800万円未満	5.6
9 800～900万円未満	9.7
10 900～1,000万円未満	4.2
11 1,000万円以上	0.0
12 わからない	13.9
13 答えたくない	8.3
無回答	2.8

Q11 あなたのご家庭では、これまでにご自身や配偶者・パートナーが育児休業制度を利用したことはありますか。

複数回答	%
全体	(72)
1 自分が利用したことがある	36.1
2 配偶者・パートナーが利用したことがある	19.4
3 利用を希望していたが、利用しなかった(できなかった)	9.7
4 利用を希望しておらず、利用しなかった	38.9
無回答	5.6

Q12 育児休業制度を利用しなかった(できなかった)理由をお答えください。

複数回答	%
全体	(7)
1 職場に迷惑がかかると思ったから	42.9
2 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があったから	28.6
3 復帰後やっていけるかどうか不安だったから	14.3
4 元の仕事(職場・ポジション)に復帰できるかどうかわからなかったから	0.0
5 昇進・昇格に支障が出ると思ったから	0.0
6 出産を機に退職したから	14.3
7 収入が減少すると思ったから	0.0
8 所属している(いた)企業・組織に制度がなかったから	28.6
9 その他	14.3



# 単純集計表

Q13 現在、ご自身や配偶者・パートナーの親と同居していますか。

※ご自身と配偶者・パートナーどちらの親であるかは問いません

※同居している親としていない親がいる場合、1と2両方にチェックを入れてください

複数回答	%
全体	(72)
1 親と同居している	20.8
2 親と同居していない	73.6
3 現在、親はいない	2.8
4 その他	1.4
無回答	4.2

Q14 「同居していない親」がいる方にお聞きます。

ご自身又は配偶者・パートナーの親は、どちらにお住まいですか。

複数回答	%
全体	(53)
1 同じ町村	24.5
2 双葉郡内	20.8
3 いわき市	18.9
4 南相馬市	3.8
5 相馬市	0.0
6 相馬郡	0.0
7 県北	9.4
8 県中	17.0
9 県南	0.0
10 会津	3.8
11 南会津	0.0
12 その他	32.1

Q15 あなたの子どもの人数をお答えください。

単一回答	%
全体	(72)
1 1人	31.9
2 2人	41.7
3 3人	18.1
4 4人	1.4
5 5人以上	2.8
無回答	4.2

Q16 子どもの年齢をお答えください。※6人以上いる場合は、「5人目」の欄には一番下の子どもの年齢をお答えください。

単一回答マトリクス

		1	2	3	4	5	6	7	8	
	全体	1歳未満	1～3歳	4～6歳	7～9歳 (小学校1 年生～3年 生)	10～12歳 (小学校4 年生～6年 生)	13～15歳 (中学 生)	16～18歳	19歳以上	無回答
1 1人目 (一番上の子ども)	(72)	4.2	16.7	20.8	25.0	8.3	9.7	4.2	6.9	4.2
2 2人目	(46)	6.5	30.4	26.1	8.7	15.2	0.0	6.5	6.5	0.0
3 3人目	(16)	18.8	25.0	31.3	12.5	6.3	0.0	0.0	6.3	0.0
4 4人目	(3)	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
5 5人目 (6人以上いる場合は、一番下の子どもの年齢)	(2)	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# 単純集計表

Q17 あなたの子どもは、以下のいずれかの項目に当てはまりますか。

複数回答	%
全体	(72)
1 療育手帳（「愛の手帳」「みどりの手帳」など）を持っている	1.4
2 精神障害者保健福祉手帳を持っている	2.8
3 身体障害者手帳を持っている	0.0
4 特定医療費(指定難病)受給者証(難病医療証)または小児慢性特定疾病医療受給者証を持っている	1.4
5 手帳はないが、障害の診断を受けている	4.2
6 その他特別な配慮が必要である	2.8
7 ひとつもない	81.9
無回答	8.3

Q19 あなたの子どもは、【平日の午前中～午後（園や学校のある時間帯）】どのような場所で過ごしていますか。当てはまるものを全てお答えください。

※子どもが複数人いる場合や、複数の場所で過ごしている場合は、あてはまるものすべてにチェックを入れてください。

複数回答	%
全体	(72)
1 保育園	9.7
2 認定こども園	50.0
3 幼稚園	4.2
4 小学校	41.7
5 中学校	12.5
6 あなたご自身と一緒に過ごしている	13.9
7 あなた以外のご家族と一緒に過ごしている	0.0
8 子どもだけで過ごしている	0.0
9 家族以外の、地域の人と一緒に過ごしている	0.0
10 その他	1.4
無回答	6.9

Q20 あなたの子どもは、【平日の午後～夕方（園・学校が終わってから夕方6時頃まで）】どのような場所で過ごしていますか。当てはまるものを全てお答えください。

※子どもが複数人いる場合や、複数の場所で過ごしている場合は、あてはまるものすべてにチェックを入れてください。

複数回答	%
全体	(72)
1 放課後児童クラブ	27.8
2 放課後等デイサービス・療育事業所	0.0
3 部活動・サークル活動	2.8
4 塾・習い事	9.7
5 あなたご自身と一緒に過ごしている	54.2
6 あなた以外のご家族と一緒に過ごしている	25.0
7 子どもだけで過ごしている	4.2
8 家族以外の、友人と一緒に過ごしている	1.4
9 家族以外の、地域の人と一緒に過ごしている	0.0
10 その他	4.2
無回答	5.6

# 単純集計表

Q21 あなたのご家族は、以下それぞれのシーンでどのように過ごすことが多いですか。当てはまるものをすべてお答えください。

複数回答マトリクス

		1	2	3	4	5	6	
	全体	住んでいる町村内	隣の町村など双葉郡内	双葉郡外・福島県外	オンライン・インターネット	その他	日常生活でこのシーンはない	無回答
1【平日】お買い物	(72)	68.1	33.3	31.9	40.3	2.8	2.8	5.6
2【平日】子どもとのレジャー（遊び場・公園）	(72)	61.1	37.5	26.4	4.2	0.0	9.7	6.9
3【平日】習い事・塾	(72)	12.5	5.6	9.7	4.2	4.2	59.7	6.9
4【休日】お買い物	(72)	34.7	48.6	77.8	20.8	1.4	0.0	6.9
5【休日】子どもとのレジャー（遊び場・公園）	(72)	38.9	55.6	75.0	5.6	2.8	1.4	6.9
6【休日】習い事・塾	(72)	12.5	6.9	12.5	4.2	2.8	63.9	5.6
7【平日・休日問わず】子どもの病院	(72)	33.3	36.1	63.9	1.4	0.0	1.4	5.6

# 単純集計表

Q22 普段どのような施設・サービス・取り組みを利用していますか。  
お住まいの町村に関わらず、普段利用しているものを全てお答えください。

複数回答	%
全体	(72)
1 屋外の公園・遊び場	80.6
2 屋内の遊び場	72.2
3 公共施設等にあるキッズスペース	45.8
4 プレーパーク・冒険あそび場・冒険ひろば	23.6
5 アミューズメント施設（ゲームセンター・映画館・カラオケなど）	45.8
6 保育園・こども園等の一時預かり	20.8
7 病児・病後児保育	2.8
8 ベビーシッター・家庭的保育事業（保育ママ）	0.0
9 ファミリーサポート	1.4
10 児童発達支援・放課後等デイサービス	0.0
11 南双葉療育教室（ふたば教室）	4.2
12 放課後児童クラブ	20.8
13 習い事（スポーツ系）	19.4
14 習い事（文化系）	15.3
15 学習塾	2.8
16 子育て支援センター	6.9
17 自治体主催の子育てサロン	8.3
18 民間団体主催の子育てサロン	6.9
19 子ども会	4.2
20 PTA	1.4
21 こども食堂	23.6
22 その他	1.4
23 ひとつもない	2.8
無回答	1.4

Q23 生活圏内にあれば利用したい施設・サービス・取り組みは何ですか。  
普段利用しているものも含めて、あてはまるものを全てお答えください。

複数回答	%
全体	(72)
1 屋外の公園・遊び場	63.9
2 屋内の遊び場	66.7
3 公共施設等にあるキッズスペース	52.8
4 プレーパーク・冒険あそび場・冒険ひろば	45.8
5 アミューズメント施設（ゲームセンター・映画館・カラオケなど）	59.7
6 保育園・こども園等の一時預かり	19.4
7 病児・病後児保育	25.0
8 ベビーシッター・家庭的保育事業（保育ママ）	15.3
9 ファミリーサポート	18.1
10 児童発達支援・放課後等デイサービス	9.7
11 南双葉療育教室（ふたば教室）	2.8
12 放課後児童クラブ	16.7
13 習い事（スポーツ系）	45.8
14 習い事（文化系）	38.9
15 学習塾	20.8
16 子育て支援センター	12.5
17 自治体主催の子育てサロン	18.1
18 民間団体主催の子育てサロン	19.4
19 子ども会	23.6
20 PTA	6.9
21 こども食堂	23.6
22 その他	2.8
23 ひとつもない	1.4
無回答	1.4

Q24 子育てについての情報源となっているものをすべてお答えください。

複数回答	%
全体	(72)
1 自治体の広報誌やチラシ	55.6
2 自治体の公式サイト	30.6
3 テレビ	25.0
4 ラジオ	1.4
5 Youtubeなどの動画サイトや、ポッドキャスト等の音声メディア	22.2
6 新聞	13.9
7 本・雑誌	13.9
8 フリーペーパー	26.4
9 インターネット検索	56.9
10 育児系WEBメディア・ポータルサイト	15.3
11 育児系アプリ	15.3
12 インターネットの掲示板・SNS（X、Instagramなど）	36.1
13 家族の話	41.7
14 友人の話	61.1
15 保護者仲間の話	56.9
16 保育士・幼稚園や学校の先生	33.3
17 医師・看護師・医療機関	8.3
18 保健師・助産師・栄養士などの専門家	15.3
19 町村の相談窓口・公的相談機関・行政職員	4.2
20 その他	2.8
21 ひとつもない	1.4
無回答	2.8

# 単純集計表

Q25 子育てについて、頼れる人や相談できる人はいますか。

単一回答	%
全体	(72)
1 まったくない	1.4
2 あまりない	5.6
3 どちらともいえない	5.6
4 まあいる	45.8
5 十分にいる	33.3
無回答	8.3

Q28 子育てについて学ぶ機会(子育て関連の講座、講演会、体験教室など)があったら、参加したいと思いますか。

単一回答	%
全体	(72)
1 ぜひ参加したい	33.3
2 まあ参加したい	44.4
3 あまり参加したくない	18.1
4 まったく参加したくない	1.4
無回答	2.8

Q26 子育てについて、現在あなたが「頼れる・相談できる」と思う人や機関をすべてお答えください。

複数回答	%
全体	(72)
1 配偶者・パートナー	70.8
2 ご自身の親	58.3
3 配偶者・パートナーの親	27.8
4 ご自身のきょうだい	30.6
5 その他の親族	13.9
6 近くに住んでいる友人・知人	48.6
7 近くに住んでいない友人・知人	22.2
8 保護者仲間	48.6
9 同僚・上司・仕事仲間	29.2
10 保育士・幼稚園や学校の先生	29.2
11 医師・看護師・医療機関	13.9
12 保健師・助産師・栄養士などの専門家	15.3
13 町村の相談窓口・公的相談機関・行政職員	4.2
14 児童相談所	1.4
15 子育て支援センター	4.2
16 子育てサークル	1.4
17 子育て支援の民間団体・NPO	4.2
18 こども食堂	13.9
19 各種電話相談窓口	2.8
20 インターネットの掲示板・SNS (X、Instagramなど)	5.6
21 放課後児童クラブの先生・職員	5.6
22 放課後等デイサービス・療育事業所の先生・職員	0.0
23 スクールカウンセラー	5.6
24 スクールソーシャルワーカー	2.8
25 その他	1.4
26 ひとつもない	0.0
無回答	2.8

Q27 子育てについて、「頼りにしたり、相談したりしたい」と思う人や機関をお答えください。  
※前問の回答に関わらず(現在頼りにしている・相談しているかどうかに関わらず)、今後「頼りにしたり、相談したりしたい」と思う項目すべてにチェックを入れてください。

複数回答	%
全体	(72)
1 配偶者・パートナー	61.1
2 ご自身の親	51.4
3 配偶者・パートナーの親	36.1
4 ご自身のきょうだい	29.2
5 その他の親族	8.3
6 近くに住んでいる友人・知人	45.8
7 近くに住んでいない友人・知人	16.7
8 保護者仲間	47.2
9 同僚・上司・仕事仲間	19.4
10 保育士・幼稚園や学校の先生	36.1
11 医師・看護師・医療機関	23.6
12 保健師・助産師・栄養士などの専門家	23.6
13 町村の相談窓口・公的相談機関・行政職員	12.5
14 児童相談所	2.8
15 子育て支援センター	19.4
16 子育てサークル	12.5
17 子育て支援の民間団体・NPO	15.3
18 こども食堂	13.9
19 各種電話相談窓口	1.4
20 インターネットの掲示板・SNS (X、Instagramなど)	4.2
21 放課後児童クラブの先生・職員	6.9
22 放課後等デイサービス・療育事業所の先生・職員	6.9
23 スクールカウンセラー	20.8
24 スクールソーシャルワーカー	11.1
25 その他	0.0
26 ひとつもない	1.4
無回答	5.6

# 単純集計表

Q29 あなたは、現在お住まいの町村での暮らしについてどの程度「満足している」と思いますか。

※深く考えずに、直感でお答えください。主観的なご意見で構いません。

単一回答	%
全体	(72)
1 満足していない	9.7
2 あまり満足していない	15.3
3 どちらともいえない	22.2
4 まあ満足している	44.4
5 満足している	6.9
無回答	1.4

Q30 あなたは、現在お住まいの町村での子育てについてどの程度「満足している」と思いますか。

※深く考えずに、直感でお答えください。主観的なご意見で構いません。

単一回答	%
全体	(72)
1 満足していない	13.9
2 あまり満足していない	19.4
3 どちらともいえない	18.1
4 まあ満足している	43.1
5 満足している	4.2
無回答	1.4

Q34 子育てをするうえで、どの程度「孤立」を感じていますか。

※深く考えずに、直感でお答えください。主観的なご意見で構いません。

単一回答	%
全体	(72)
1 孤立を感じる	4.2
2 やや孤立を感じる	15.3
3 どちらともいえない	20.8
4 あまり孤立を感じない	33.3
5 孤立を感じない	25.0
無回答	1.4

Q31 子育てをするうえで、経済的にどの程度「ゆとり」を感じていますか。

※深く考えずに、直感でお答えください。主観的なご意見で構いません。

単一回答	%
全体	(72)
1 苦しい	9.7
2 やや苦しい	22.2
3 どちらともいえない	37.5
4 まあゆとりはある	26.4
5 ゆとりはある	2.8
無回答	1.4

Q32 子育てをするうえで、どの程度「時間的なゆとり」を感じていますか。

※深く考えずに、直感でお答えください。主観的なご意見で構いません。

単一回答	%
全体	(72)
1 ゆとりはない	15.3
2 あまりゆとりはない	37.5
3 どちらともいえない	22.2
4 まあゆとりはある	18.1
5 ゆとりはある	5.6
無回答	1.4

Q33 子育てをするうえで、どの程度「精神的なゆとり」を感じていますか。

※深く考えずに、直感でお答えください。主観的なご意見で構いません。

単一回答	%
全体	(72)
1 ゆとりはない	9.7
2 あまりゆとりはない	20.8
3 どちらともいえない	29.2
4 まあゆとりはある	31.9
5 ゆとりはある	6.9
無回答	1.4

# 単純集計表

Q35 あなたの子育てに関する悩みについて、当てはまるものをすべてお答えください。

複数回答	%
全体	(72)
1 日常生活を送るうえでの経済的負担・不安	43.1
2 進学・学費に関する経済的負担・不安	47.2
3 子育てに十分な時間がとれない	27.8
4 ひとりで過ごす時間・自分の自由な時間が持てない	43.1
5 子育てと仕事の両立	47.2
6 子育て・家事・仕事等で身体的に疲労が大きい	38.9
7 同じ年頃の子どもを持つ母親や父親が身近にいない (少ない)	8.3
8 家族間で子育てについての意見・考え方が合わない	5.6
9 子育てについて相談できる人がいない (少ない)	8.3
10 子育てに関する情報が地域内にない (少ない)	16.7
11 子どもとの接し方がわからない・自信が持てない	8.3
12 子どものしつけ、教育の仕方がわからない・自信が持てない	23.6
13 近所に子どもの遊び友達がいない (少ない)	30.6
14 子どもの交友関係	22.2
15 子どもの健康・発育	26.4
16 子どもの生活習慣	29.2
17 子どもの勉強・成績・進学	44.4
18 子どもへの放射線等の影響	8.3
19 妊娠・出産・子育てに関する行政からのサポートがない (少ない)	8.3
20 医療機関がない (少ない)	61.1
21 子どもを預けられる施設・サービスがない (少ない)	31.9
22 子どもの障害に対する支援や相談窓口がない (少ない)	4.2
23 近くに保育園・幼稚園・学校がない (少ない)	5.6
24 子どもの習い事・塾などの選択肢がない (少ない)	52.8
25 子連れにやさしい店や施設がない (少ない)	30.6
26 子どもの遊び場・施設がない (少ない)	29.2
27 安全に遊べる場所がない (少ない)	15.3
28 その他	4.2
29 ひとつもない	0.0
無回答	1.4

# 単純集計表

■ Q36～49  
【頼りにしている・利用していると回答した項目】について、  
どのようなことを感じますか。  
当てはまるものをすべてお答えください。（複数回答）

	n	が自 身の 精 神 的 ゆ と り	が自 身の 時 間 的 ゆ と り	す 経 済 的 な 負 担 が 軽 減	軽 自 減 す る 悩 み や 不 安 が	バ イ 育 ス テ が も 関 ら す る ア ド	つ 子 な ど が の を 人 間 関 係 ・	な 自 が の を 人 間 関 係 ・ つ	験 子 の 機 会 あ そ び ・ 体	達 子 ど も の 情 緒 ・ 発	子 ど も の 健 康 に よ い	そ の 他	ひ と つ も な い	無 回 答
Q36 配偶者・パートナー	(51)	72.5	64.7	68.6	51.0	31.4	39.2	41.2	49.0	47.1	33.3	2.0	2.0	2.0
Q37 配偶者・パートナー以外の家族（親、きょうだい、親戚）	(53)	62.3	64.2	26.4	41.5	52.8	39.6	28.3	34.0	45.3	15.1	1.9	1.9	(%)
Q38 保護者仲間	(35)	80.0	25.7	0.0	88.6	62.9	77.1	77.1	48.6	48.6	11.4	0.0	0.0	
Q39 友人・知人	(41)	80.5	34.1	4.9	80.5	61.0	46.3	48.8	31.7	26.8	9.8	2.4	0.0	
Q40 子育て支援センター	(5)	80.0	40.0	0.0	60.0	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
Q41 保健師・助産師・栄養士などの専門家	(11)	54.5	9.1	9.1	27.3	81.8	0.0	9.1	9.1	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1
Q42 スクールカウンセラー	(4)	25.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
Q43 ファミリーサポート	(1)	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	
Q44 保育園・こども園等の一時預かり	(15)	60.0	73.3	26.7	26.7	26.7	40.0	20.0	46.7	53.3	26.7	0.0	0.0	6.7
Q45 病児・病後児保育	(2)	50.0	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	0.0	
Q46 屋内の遊び場	(52)	23.1	13.5	11.5	1.9	3.8	36.5	17.3	75.0	55.8	65.4	3.8	3.8	7.7
Q47 プレーパーク・冒険あそび場・冒険ひろば	(17)	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9	41.2	17.6	58.8	58.8	58.8	0.0	0.0	5.9
Q48 こども食堂	(17)	64.7	41.2	29.4	29.4	41.2	94.1	58.8	41.2	52.9	64.7	11.8	0.0	
Q49 各種電話相談窓口	(2)	50.0	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	



# 単純集計表

Q51 あなたは、子ども支援・子育て支援の活動をしたいと思いますか。

単一回答	%
全体	(72)
1 ぜひしたい	15.3
2 できればしたい	30.6
3 あまりしたくない	13.9
4 まったくしたくない	4.2
5 わからない	22.2
6 すでにやっている	5.6
無回答	8.3

Q53 子ども支援・子育て支援の活動をしていない方におたずねします。  
子ども支援・子育て支援の活動について、壁に感じるのはどんなことですか。

複数回答	%
全体	(68)
1 どんな活動が行われているのかわからない	36.8
2 自分にどんな活動ができるのかわからない	38.2
3 参加方法や始め方がわからない	27.9
4 時間的余裕がない	45.6
5 健康・体力に自信がない	16.2
6 金銭的な負担がかかる（交通費等）	13.2
7 近くに参加できる活動がない	11.8
8 一緒に参加する人がいない	17.6
9 始める勇気がない	22.1
10 参加しても実際に役に立っていると思えない	16.2
11 ボランティアを受け入れる団体等に不信感がある	1.5
12 関心や興味を持ってない	5.9
13 その他	1.5
14 ひとつもない	2.9
無回答	14.7

Q52 子ども支援・子育て支援の活動を始めたきっかけをお答えください。

複数回答	%
全体	(4)
1 自分の子どもの困りごとを解決したかったから	50.0
2 自分以外の子どもの困りごとを解決したかったから	25.0
3 地域や社会の役に立ちたかったから	75.0
4 活動を通してつながりをつくりたかったから	75.0
5 自分の特技、能力、経験を活かしたかったから	0.0
6 知人・友人に誘われたから	50.0
7 自由な時間があったから	0.0
8 活動がなかったので自分で始める必要があった	50.0
9 その他	0.0
10 ひとつもない	0.0

Q56 行政の子育て施策について、あなたが特に期待するものを3つまでお選びください。

複数回答	%
全体	(72)
1 職場における育児休業の取得促進	20.8
2 子ども手当、児童手当、奨学金の拡充	70.8
3 出産・育児を機に離職した女性の復職支援	15.3
4 妊娠・出産にかかる費用軽減・公的助成支援の拡大	12.5
5 子どもの医療費無料化・軽減	25.0
6 保育所の整備・充実	26.4
7 学童保育の整備・充実	23.6
8 婚外子に対する平等な扱い	4.2
9 ひとり親支援の拡充	13.9
10 里親・養子縁組家庭に対するサポート体制の強化	4.2
11 その他	8.3
12 期待するものはない	5.6
無回答	6.9

## V. 調査概要

# 調査方法

## ■デスクリサーチ

各種資料やウェブサイト等を利用し、必要なデータを収集した

- ・調査項目：双葉郡の人口動態、児童・生徒数、子育て関連機能・施設の実態、基本計画における子ども・子育て政策等

## ■アンケート調査

双葉郡で子育てをしている保護者に向けたアンケート調査を実施した

- ・対象者： 双葉郡在住の、満15歳以下の子どもを持つ保護者の方
- ・調査方法：マクロミル『Questant』を使用しオンラインで回答できるアンケートを作成。同内容をアンケート用紙にして印刷。メールマガジンや、地域内の公共施設、教育機関、子育てサロン、子ども食堂などで配布・回収。
- ・調査期間：2023年11月～2024年1月
- ・質問数： 56問

## ■ヒアリング調査

双葉郡で子育てをしている保護者にヒアリング調査を実施した

- ・対象者： 双葉郡在住の、満15歳以下の子どもを持つ保護者の方
- ・実施人数： 14名
- ・依頼方法：調査実施主体である「いわき・双葉の子育て応援コミュニティcotohana」のつながりで依頼。また、別途実施のアンケート調査にてヒアリング協力可と回答した方に依頼。
- ・実施方法：ご自宅や近隣のコミュニティスペース等でヒアリングを実施。
- ・調査期間：2023年11月～2024年2月

※あわせて今後子育て支援や居場所づくりの活動をしている支援者へのヒアリング調査も実施

# 調査項目詳細

## アンケート調査項目(一部を除きヒアリングでも聴取)

テーマ	質問NO	内容	回答形式
本人・家族について	Q1	年齢	SA
	Q2	性別	SA
	Q3	居住地	SA
	Q4	婚姻状況	SA
	Q5	出身地(本人/配偶者・パートナー)	SAMT
	Q6	東日本大震災当時の居住地(本人/配偶者・パートナー)	SAMT
	Q7	現在の居住地に帰還・移住した時期	SAMT
	Q8	帰還・移住理由	MA
	Q9	職業(本人/配偶者・パートナー)	SAMT
	Q10	世帯年収	SA
	Q11	育児休業利用経験	MA
	Q12	育児休業を利用しなかった理由	MA
	Q13	親との同居有無	MA
子どもについて	Q14	同居していない親の居住地	MA
	Q15	子どもの人数	SA
	Q16	子どもの年齢	SAMT
	Q17	子どもの特別支援ニーズ有無	MA
	Q18	子どもの特別支援ニーズの内容	FA
	Q19	子どもの平日日中の過ごし方	MA
	Q20	子どもの平日夕方以降の過ごし方	MA
子育てについて	Q21	普段の過ごし方(平日・休日/買い物・遊び・学び体験・病院)	MAMT
	Q22	普段利用している子育て施設・サービス・取り組み	MA
	Q23	生活圏内であれば利用したい子育て施設・サービス・取り組み	MA
	Q24	子育ての情報源	MA
	Q25	頼れる人・相談できる人の有無	SA
	Q26	頼れる・相談できる人や機関	MA
	Q27	頼りにしたい・相談したい人や機関	MA
	Q28	学ぶ機会の参加意向	SA

テーマ	質問NO	内容	回答形式
暮らし・子育て実感	Q29	暮らし満足度	SA
	Q30	子育て満足度	SA
	Q31	経済的ゆとり	SA
	Q32	時間的ゆとり	SA
	Q33	精神的ゆとり	SA
	Q34	孤立感	SA
	Q35	子育てについての悩み	MA
	Q36~Q49	頼りにしている・普段利用しているものについて どんな存在か 配偶者・パートナー、家族、保護者仲間、友人・知人、子育て支援センター、保健師・助産師・栄養士などの専門家、スクールカウンセラー、ファミリーサポート、保育園・こども園等の一時預かり、病児・病後児保育、屋内の遊び場、プレーパーク・冒険あそび場・冒険ひろば、こども食堂、各種電話相談窓口	MAMT
	Q50	暮らしや子育てについての意見や望むこと	FA
	Q51	子ども支援・子育て支援の活動の意向	SA
地域活動について	Q52	子ども支援・子育て支援の活動を始めたきっかけ	MA
	Q53	子ども支援・子育て支援の活動について壁に感じること	MA
	Q54	子ども支援・子育て支援の活動の内容	FA
	Q55	やってみたい活動の内容	FA
	Q56	行政の子育て施策について特に期待するもの	3LA

## VI. 調査実施団体・調査主体

# 団体概要 / お問い合わせ

## 調査実施団体

### いわき・双葉の子育て応援コミュニティcotohana(コトハナ)

●設立  
2019年2月1日

●共同代表  
鈴木みなみ 小林奈保子

●WEBサイト  
<https://cotohana.net/>

●事業内容  
福島県双葉郡において、子育て支援を通じた地域コミュニティの醸成を目的とし、子育て中の家族、子育て支援に関わる地域の人・関係機関等と連携しながら、そのネットワークを活かして情報発信・事業企画等を展開。

1. ままカフェ@双葉郡
2. 冒険ひろば@双葉郡
3. とみおかこども食堂運営サポート
4. 「ふたばで七五三お祝いプラン」企画・運営
5. ふたばの子育て支援情報誌「コトハナ」制作・発行
6. 双葉郡の子育てWEBメディア「コトハナオンライン」運営
7. 地域コーディネーター



## 調査主体

### ふくしまこども食堂ネットワーク

●設立  
2017年8月11日

●加盟団体  
114団体(2024年3月現在)

●WEBサイト  
[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/gi5qo](https://peraichi.com/landing_pages/view/gi5qo)

- 事業内容
1. 福島県内に新しくこども食堂を立ち上げたい方のサポート  
こども食堂立ち上げ講座・運営相談・食材や資金調達支援等
  2. 福島県内でこども食堂を運営する団体のサポート  
こども食堂運営者の定例会合・こども食堂研修会・運営相談・食材や資金調達支援等
  3. 福島県内でこども食堂への理解を進める活動  
こども食堂フォーラム・食育推進イベント等
  4. その他必要な事業



本調査へのご質問・ご意見や、調査結果を使用される際には、以下のフォームよりご連絡をお願いいたします。

いわき・双葉の子育て応援コミュニティcotohana(コトハナ)  
お問い合わせフォーム：<https://cotohana.net/contact>

本事業は、休眠預金を活用した取り組みです。

事業名：福島県内の町村部・浜通りのこども食堂を通じたネットワーク形成事業